

大学内のオンライン安全衛生巡視の実施例とその評価

発表者氏名：長嶋宏弥 技術分野：環境安全 発表形式：口頭発表

所属：環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ

河内哲史（環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

後藤光裕（環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

青木延幸（環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

齋藤彰（環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

松浪有高（環境安全技術支援室 安全衛生技術グループ）

概要

2019 年末より、世界中に新型コロナウイルス COVID-19 が広がり、感染防止対策のため、大学の教育研究活動は大きな見直しを迫られることとなった。例えば、Teams や Zoom 等を使ったオンライン形式で行われる機会が多くなった。安全衛生巡視もその例外ではなく、マスクの着用、換気の徹底、巡視部屋数の削減等の工夫を行いながら、活動を進めている。ただ、最近では学内で火災事故の発生や感染拡大前から年月が経ちレイアウトが変更された部屋も見られるため、巡視活動も活発化させる必要があるが、感染の完全な終息も見通せない中、今までの対面巡視方法のみでは、研究室の安全衛生の確保と感染防止の両立が難しい。

そこで、大学内においてオンライン会議ツール等を使用し、オンライン巡視の可能性について検討した。オンライン会議ツールを用いることで、感染防止につながる。実際にオンライン巡視を試行した後、現地を訪れ、指摘事項漏れがないかの確認や、オンライン巡視に最適な部屋の洗い出し等を行ったので、報告する。